

「JAバンク茨城子ども食堂応援成」活動報告書

活動名	地域の「絆」の seed（種）を蒔こう！
団体名	ami seed
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	背景に、地域の中で困難を抱えた子どもたちがいる意識が薄い、理解しにくい環境の課題がある中、身近なマルシェを取り入れ、その中に子ども食堂の開放、地域の人々の趣味や特技で子どもたちに普段経験できない事を体験させた。着物の着付け体験、籍を入れないできた家庭の婚礼着付けでは、家族全員で和装を体験した。また、取手市の高校生「UNSAMU」とさんと企画から、高校生たちが「困難を抱えた子どもたちのまつり」というテーマを掲げ企画から入り、そして amiseed がご縁で繋がっていた日立の高校生・水海道二高生も繋げ、1つのイベントを成功させた。 ヤングボランティア指導研修も受け、高校生たちのヤングボランティア指導員としての実践を積んだ。
この活動の目的（※）	こどもたちを地域で育てていく人・地域で支える環境を整える。
活動の対象（※）	子どもたちとその家族
実施内容	6月11日 第1回 amiseed マルシェ 10月1日 第2回 amiseed マルシェ 2月24日 第3回 amiseed マルシェ 3月17日 さくらこどもまつり
活動実施後の成果	「amiseed」という団体名が一般の方にも多く知られた。そして、茨城にも生活困窮の子どもたち、ひとり親家庭の実情が認識されたと思います。 困難（障がい・貧困・生きづらさ）を抱えた子どもたちが、様々な体験をしたことで自信につながり、また、同じ環境同士の子どもたちが引き寄せられ、友達になる場面を多く見た。子どもたちの表情が変わったことが今回の成果になりました。
今後の展望や新たに増えてきた地域課題	今回の活動で見たのは、離婚したばかりの家庭、配偶者がいても、お給料を入れないなど事情抱えた家庭が増えている。未婚での出産など不安を抱えながらの子育てが見えてきている。フラットホーム総合的支援ができる体制を展開したい。

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

寄付者への一言（※）	寄付を下さる方のおかげで、私たちは生活困窮やひとり親家庭の支援に入れました。 ありがとうございます。 こどもたちの時代はグローバルで多様な生き方があり、自分らしく生きる子どもたちを育てたいと思います。
自己評価 (いずれかに ○を記入)	☒ A. 目標を超える成果を得ることができた ☐ B. ほぼ目標どおりの結果となった ☐ C. 残念ながら目標を達成できなかった ☐ D. その他（ ）
自己評価で C を記入された 場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で2ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。